



勝部・まず「米」というものについて、お国自慢なども含めて伺いたいと思います。ボーン・日本に滞在して三年半ぐらいになります。当然たくさんのお米を食べましたが、残念ながら、味や品質の違いが分からぬ部分があることを認めなければなりません。私のようなケースは、きっと典型的なアメリカ人のものかもしれません。もちろんお米はおいしいと思うのですが、区別はなかなかつかないのです。

玄・最近になって韓国は自給化しています。二、三年前までは食糧不足で、質より量で生産し、今では百万噸ぐらいい余っています。産業の五%ほどを占める農業のほとんどは専業です。ただ、量中心でしたから、日本のように



おいしい米はまだ作ってません。消費量は、日本同様減少傾向ですが、まだ一人当たり年間百二十キロは食べていますから、日本の約二倍です。統計では五〇%ぐらいいの人が三食、米を食べています。将来は少し心配ですが、竹井・生協事業としても単品では米が中心なんです。皆さんへどれだけ安くおいしい米を供給するかが私の活動の中心課題です。ところが、知れば知るほど、米の生産、流通、食管制度が分からなくなります。結局、米に関しては消費者不在の形で進行していくかだと思います。

勝部・アメリカでは米の消費は増えてますか。

ボーン・ヘルシーということ、全般的に上昇気流に乗っていると思います。

カリフォルニアの人々が米を食べるかどうか、米の問題を考える際、米とひと口に言いますが、私たちと日本人とでは米のイメージがちょっと違います。今日二つの見本を持ってきましたが、一つはおなじみのジャボニカ米。空港でギフト用に売っているものです。ジャボニカ米はカリフォルニアでも人気が高

【ガット(GATT)】関税貿易一般協定。

【食糧管理制度】米の需要動向や流通実態に即応し、需給事情の変動に的確に対応させる制度。

【ウルグアイ・ラウンド】ガットの関税引き下げ交渉。新たな多国間交渉がウルグアイで開催されたことにちなみこう呼ぶ。農業をはじめ知的所有権、サービス貿易など15分野に分けて交渉が進められている。

【ウエーバー条項】ガットの自由化義務免除規定条項。

【EC】欧州共同体。

に、なかなか日本の考え方だけが尊重される状況にはありません。今日はいい機会ですが、私たちの米を考えるということを常に持つたいと思います。また、

市場開放という外のことのみにとらわれ、今後の日本の農業をどうするかという最も大事な課題を忘れたり、後回しにしたりしては、それこそ問題ではないかと思っています。

いることに、大変憤りと疑問を感じています。経済的なことだけでなく、精神的、文化的、いろんな面で米は非常に人間生活とかかわりの深いものと痛感しています。

藤原・農業に取り組んで二十五年ばかりになります。米について反省してみますと、数年前まで私たちも韓国同様質より量で進んできました。それが今日、年ばかりになります。米について反省してみますと、数年前まで私は、韓国同様質より量で

おいしい米はまだ作っていません。秋田の米は味で遅れると批判され、たまたまアキタコマチの出現で、ササニシキ、コシヒカリと肩を並べられる米が作れるようになつたわけです。作りさえすればではなく、売れる米を作ることが私たちの課題だと思いましますし、自由化攻勢、産地間競争の中、いかにコストを下げていくかだと思います。

ボーン・ヘルシーと米の消費は増えてますか。

ボーン・ヘルシーということ、全般的に上昇気流に乗っていると思います。

カリフォルニアの人々が米を食べるかどうか、米の問題を考える際、米とひと口に言いますが、私たちと日本人とでは米のイメージがちょっと違います。今日二つの見本を持ってきましたが、一つはおなじみのジャボニカ米。空港でギフト用に売っているものです。ジャボニカ米はカリフォルニアでも人気が高

味・量・それとも健康？ さまで米のお国がら



く、主にサクラメント地域で栽培されています。しかし、米というともう一つあって、それがこのワイルドライスです。黒い米ですが、カリフォルニアをはじめアメリカ全土で大変な人気です。値段は高いのですが、非常にヘルシーな点から特に人気なわけです。

勝部・韓国でも食管制度のようなもので米が守られていますか。

玄・法はありますが、日本のようには厳しくないです。自由市場があつて、国が買い上げる軍隊用の一〇%～二〇%ぐらいを除いては、全部そこで農家が売らなければなりません。米の値段がいつも同じならないのです

が、自由取引なので年間三〇%～四〇%の価格差がでます。農家にとって自由市場はあまりよくないと思います。毎年、国に全量買い上げを求めたデモが繰り返し起ります。